

日本宗教学会
第72回 学 術 大 会

2013年9月6日～8日



國 學 院 大 學
(渋谷キャンパス)

【6 日 会 場】 学術メディアセンター・常磐松ホール
【7・8日会場】 120周年記念1号館
(※一部 学術メディアセンター・博物館)

「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取り下さい。名札は、常に身に付け、お帰りの際にはご返却下さい。
2. 受付には、学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. **発表題目、パネル構成員の変更は一切認められません。**プログラムと同一にして下さい。
4. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においで下さい。
 - **申し込み時に、パソコン用プロジェクタの使用を申請された方へ**
個人発表は発表の2人前、パネル発表は開始20分前までに、会場係にお申し出下さい。
5. 発表時に配布する資料は、余裕をもってご用意の上、会場係にお渡し下さい。
6. **発表時間は以下のように構成されます。時間厳守でお願いします。**
 - 個人発表 発表15分、質問5分、計20分(初鈴 13分、二鈴 15分、三鈴 20分)
 - パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保下さい。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクタの設置に時間が必要なことを加味して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
8. 万が一、発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表を詰めて行うことなく、予定時間通りに発表して頂きます。
9. **個人発表のレジュメ(表紙・本文)の紙原稿・電子データについて**
22頁「レジュメの作成と提出の注意」に従って作成した紙原稿を、9月8日午後2時までに、部会責任者に提出して下さい。電子データは、22頁「電子データの提出方法」に従って、ご提出下さい。
10. **パネル発表のレジュメ(表紙・本文)の紙原稿・電子データについて**
22頁「レジュメの作成と提出の注意」に従って作成した紙原稿を、代表者がとりまとめて、9月8日午後2時までに、部会責任者に提出して下さい。
電子データも、代表者が全員分をとりまとめて、9月13日までに、メールで、学会事務局に送信して下さい。
代表者は、「パネルの主旨とまとめ」(40字×40行)と「パネルの欧文タイトル」を、9月20日までに、学会事務局にご送信下さい。
11. 日本語が母語でない方へ **レジュメ(本文)は、必ず、日本語上の精査を受けた上で、ご提出下さい。**
12. 所定の場所以外での喫煙は、ご遠慮下さい。

受	付	6日 7・8日	AMC 1階 常磐松ホール 120周年記念1号館 1F							
会	員	休	憩	室	7・8日	120周年記念1号館 2F 1204教室 120周年記念1号館 3F 1305教室				
ク	ロ	ー	ク	7・8日	120周年記念1号館 2F 1207教室					
学	会	本	部	7・8日	120周年記念1号館 2F 1206教室					
大	会	実	行	委	員	会	本	部	7・8日	120周年記念1号館 2F 1205教室



大会日程



..... 9月6日(金)

学会賞選考委員会	120周年記念1号館 1F 1101教室	12:30~13:30
情報化委員会	120周年記念1号館 1F 1102教室	13:00~14:00
庶務委員会	120周年記念1号館 1F 1103教室	13:00~14:30
国際委員会	120周年記念1号館 1F 1104教室	13:00~14:00
開 会 式	学術メディアセンター 1F 常磐松ホール	14:30~14:40
公開学術講演会	学術メディアセンター 1F 常磐松ホール	14:40~17:40
テーマ「ネットワークする宗教研究」 講師 Michael Witzel(ハーバード大学教授) 長谷川真理子(総合研究大学院大学教授) 芦名 定道(京都大学教授) 司会 井上 順孝(國學院大學教授)		
理 事 会	120周年記念1号館 1F 1101教室	18:00~20:30

..... 9月7日(土)

研究発表(個人)	120周年記念1号館 1F~4F	9:00~12:40
評 議 員 会	120周年記念1号館 1F 1105教室	12:40~14:00
研究発表(個人、パネル)	120周年記念1号館 1F~4F(一部 博物館)	14:00~16:00
会 員 総 会	120周年記念1号館 1F 1105教室	16:20~17:40
懇 親 会	学術メディアセンター 1F	18:00~20:00

..... 9月8日(日)

研究発表(個人)	120周年記念1号館 1F~4F	9:00~12:15
編 集 委 員 会	120周年記念1号館 3F 1307教室	12:15~13:00
プログラム委員会	120周年記念1号館 3F 1308教室	12:15~13:00
研究発表(個人、パネル)	120周年記念1号館 1F~4F	13:15~16:10

開催校からのお知らせ

日本宗教学会会員の皆さま、本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ぜひご一読くださいますようお願い申し上げます。

- 1) 今回のプログラムでは発表者の希望、キーワードを考慮して部会を作成しましたが、人数の関係で必ずしも希望の部会に割り当てられていない場合があります。また各部会のパネルは個人発表とは異なった研究分野もありますので、ご注意ください。
- 2) 会場には、大会参加者用の駐車場はございませんので、自家用車での来場はご遠慮願います。なお、会場へのアクセスについては25頁の通りですので、ご参照ください。
- 3) 昼食は、土曜日、日曜日とも大学内の食堂をご利用ください。
- 4) 自由に使用できるコピー機は設置しておりませんので、配布資料などは予めご自分でご用意ください。
- 5) クロークでは、お荷物をお預かりする用意はございますが、貴重品・衣服については預かりかねますので、ご容赦ください。
- 6) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- 7) 大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページでご確認ください(期間限定の電話番号を用意する予定です)。

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

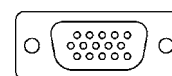
第72回学術大会での発表において、パソコン用プロジェクターの使用を申請された方は以下の注意をご熟読ください。

なお、発表申込時にパソコン用プロジェクターの使用を申請されなかった方について、後からの機材使用の申込は受け付けておりませんのでご了解ください。

また、使用機材(プロジェクター・パソコン)は各教室によって異なっております。事前の動作確認をご希望される方は、発表される部会の教室にて担当者にお尋ねください。なお、その際の状況によっては動作確認を行うことのできない場合もありますので、その旨ご了解ください。

①パソコン*を持参する場合

各部会会場で使用するパソコン用プロジェクターは、D-Sub15ピンのアナログ接続(右図)にのみ対応しています。



DVI、USBなどの接続方式には対応していません。

パソコンによっては(Macintosh等)、直接接続できない場合がありますので、VGA変換アダプターをご持参ください。

また、ご持参のパソコンが接続できないトラブルも起こりえますので、USBメモリー等にプレゼンテーション資料を保存してお持ちください。

*スマートフォン、タブレット等、VGAアダプターによりディスプレイ出力できる機器にも対応します。

②パソコンを持参しない場合

USBメモリーでプレゼンテーション資料をお持ちください。その他の記録メディアをお使いになる場合は、USB接続に変換する機器を各自ご持参ください。事前に、お持ちになるUSBメモリー、記録メディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

会場に用意されるパソコンのOSはWindows 7(日本語版)で、PowerPoint 2010が利用可能です。音声の出力にも対応しております。ただし、あまり高性能なパソコンは用意できませんので、その旨ご了解ください。

他のOS(Macintosh, UNIX等)や他のソフトウェア(Keynote, OpenOffice.org等)、特殊フォントには対応しておりませんので、ご注意願います。

なお、構内LAN回線によるインターネット接続は原則として保証いたしません。どうしても必要な場合は事前に大会実行委員会 jars2013team@gmail.com にご相談ください。

公開学術講演会 「ネットワークする宗教研究」

日時 2013年9月6日(金) 14:40-17:40

場所 國學院大學学術メディアセンター(AMC) 1F 常磐松ホール

スケジュール

14:40-14:45

趣旨説明 井上順孝(司会・國學院大學教授)

14:45-15:35

講演(1)

Michael Witzel氏(ハーバード大学教授)

"Out of Africa: Tracing Early Mythologies by a New Approach,
Historical Comparative Mythology"

※同時通訳を用意します。

15:45-16:35

講演(2)

長谷川真理子氏(総合研究大学院大学教授)

「進化生物学から見た宗教的観念の心的基盤」

16:45-17:35

講演(3)

芦名定道氏(京都大学教授)

「現代の思想状況における宗教研究の課題——キリスト教研究の視点から」

17:35-17:40

閉会の辞 井上順孝

共催：國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

講演を企画した趣旨

19世紀以来のヨーロッパの宗教研究は多様な源をもっています。宗教学の学説史に必ずといっていいほど登場するのは、比較言語学者・神話学者のF. M. ミュラー、宗教社会学者のM. ウェーバーやE. デュルケーム、人類学者のE. B. タイラーやJ. G. フレーザー、宗教心理学者のW. ジェイムズなどです。こうしたヨーロッパの研究に強い影響を受けて展開した日本の宗教研究もまた、当初から多様な視点から行われてきました。今日に至るまで、社会学、人類学、民族学、民俗学、心理学、歴史学、哲学、文学など、隣接する学問分野とたえず接触交流しながら、宗教史、宗教現象などについてのさまざまな研究が展開してきました。

しかし、最近の20年間ほどは、ヨーロッパを中心に、それまでとは少し異なる領域からの宗教への関心が強まってきています。2006年には国際認知宗教学会 (International Association for the Cognitive Science of Religion) が設立されました。宗教行為や儀礼、宗教史の展開に大胆な仮説が出されています。宗教研究に認知科学の視点を取り入れる試みが急速に広がっています。

1990年代からは脳科学 (ニューロサイエンス) の急速な展開が宗教研究にも及んできました。また進化生物学、コンピュータサイエンス、認知哲学といった、従来は宗教研究とはあまり縁がないと考えられていた領域でも、宗教の根本的な問題について新しい議論が交わされるようになってきました。たとえば、なぜ人間は宗教を必要としたのか、神や霊といった観念はどうやって生じたのか、宗教的回心とは一体どういうメカニズムなのか、といった問いです。これらは19世紀以来議論されている古典的な問いと言えますが、それに新しい光を当ててみようという機運が生じています。

今回はこうした最近の新しい研究趨勢の中で、日本における宗教研究はどのような展望を得るべきかを考えるための講演会を企画しました。比較神話学、進化生物学、キリスト教神学の3人の研究者に講演をお願いしました。一見遠い分野に見える学問領域が、宗教現象を対象としたとき、どのような視点をつなぐことができるか、新しい研究のネットワークの可能性はあるのか、そうしたことを考える契機としたいと思っています。ぜひご来聴いただきたいと思います。

講師紹介

Michael Witzel氏

1943年生。ハーバード大学教授、比較神話学会会長。アメリカ芸術科学アカデミー会員。

主著

The Origins of the World's Mythologies. Oxford University Press, 2012.

On the Magical Thought in the Veda. Leiden: University Press, 1979.

長谷川眞理子氏

1952年生。総合研究大学院大学教授、進化生物学。

主著

『動物の生存戦略—行動から探る生き物の不思議』(左右社、2009年)

『ヒトの心はどこから生まれるのか—生物学からみる心の進化』(ウェッジ選書、2008年)

『進化生物学への道—ドリトル先生から利己的遺伝子へ』(岩波書店、2006年)

『生き物をめぐる4つの「なぜ」』(集英社新書、2002年)

芦名定道氏

1956年生。京都大学教授、キリスト教神学。

主著

『脳科学は宗教を解明できるか—脳科学が迫る宗教体験の謎』(共編著、春秋社、2012年)

『自然神学再考 近代世界とキリスト教』(晃洋書房、2007年)

『宗教学のエッセンス—宗教・呪術・科学』(北樹出版、1993年)

大会開催校 特別パネル

聖なる場としての伊勢神宮—その聖性を考える—

報告者：笹生 衛(國學院大學)「考古学から見た神宮の祭式と神宝」
伊藤 聡(茨城大学)「鎌倉時代における僧徒の参宮と神道説の形成」
櫻井 治男(皇學館大学)「伊勢参宮と神宮の聖地性—宮域と町と参宮者の信仰と意識—」
コメンテータ：加瀬 直弥(國學院大學)
司 会：遠藤 潤(國學院大學)

日時：9月7日(土)14:00-15:40

会場：國學院大學博物館(学術メディアセンターB1F)

※第10部会配分のパネルですが、開催場所は國學院大學博物館となります

今年10月に伊勢の神宮では遷御が行われる。20年に一度社殿を造替するという遷宮の性格を考えるとときには、建造物の神聖性のみならず、神宮の(場)としての聖性の問題を避けて通ることはできない。神宮はなぜ、またどのようにして聖なる場として人をひきつけてきたのか。ここでは、1) 祭祀考古学の視点から行う『皇太神宮儀式帳』の記述と祭祀遺跡・祭祀遺物の比較、2) 仏教・仏教者に対して神宮がもっていた信仰的意味に関する思想史的分析、3) 参宮者の「神宮」への意識や態度と迎え入れる側である宮域の人々ならびに町の人々の信仰・意識の関わりや重なり等の考察、に関する3つの報告を焦点として、神宮の聖性について再考する。

國學院大學博物館 企画展 神のあらわれ

日本の神々は、まつられる地の風土によって個性があらわれます。本展示は、日本の神々をとりあげ、それぞれの特徴を踏まえつつ、自然環境との関係や、信仰の展開を示します。

開館時間：9月6日(金)10:00-17:00、7日(土)12:00-17:30、8日(日)10:00-17:00

会場：國學院大學博物館(学術メディアセンターB1F)

※9月7日については、日本宗教学会会員に限定しての公開となります。

この機会に、考古学、神道学、國學院の大学史・学問史に関する常設展とあわせて、ぜひご覧ください。

祭祀舞・神楽舞の稽古の公開見学について

日時：9月8日(日)12:40-13:10

場所：120周年記念2号館2F 祭式教室

今回の学術大会の開催に合わせて、大会3日目の昼に國學院大學の祭式教室において、学内の神道関連サークルの「みすず会」、「青葉雅楽会」、「瑞玉会」、「禮法研究会」の協力による祭祀舞・神楽舞の稽古の様子を今大会の参加者に対して公開いたします。「豊栄舞」や「浦安の舞」、「朝日舞」、「胡蝶」など、神社の例祭等の祭典において舞われることの多い祭祀舞・神楽舞の稽古を予定しております。昼食時ですが、お時間のある方は是非見学ください。

2015年IAHR世界大会(ドイツ・エアフルト)に関する説明会

日時：9月8日(日)12:30-13:10(予定)

場所：120周年記念1号館3F 1301教室

2015年にドイツ・エアフルトにて開催される第21回国際宗教学宗教史会議(IAHR)世界大会に関して、説明会を行います。趣旨などは総会の際に説明されます。

第1部会

1101教室

9月7日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | ポルピュリオス『ニュンペーの洞窟』におけるオルペウス教神話 | 小野 隆一(筑波大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 古代ローマにおける動物犠牲と腸ト | 小堀 馨子(國學院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 古代末期地中海世界における夢と幻視の叙述に関する考察 | 中西 恭子(明治学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | ケルティック・スピリチュアリティにおける図像と象徴 | 中島和歌子(東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 映画の宗教学・試論—《ホラー》と《世俗》からのアプローチ— | 近藤 光博(日本女子大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教芸術のパフォーマティヴィティ | 細田あや子(新潟大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教と芸術について—エリアーデ、メルロ=ポンティから— | 松田健三郎(天理大) |
| 8. 11:55-12:15 | Culianuから見たEliade宗教学の本性 | 佐々木 啓(北大) |
| 9. 12:20-12:40 | エリアーデにおける世俗と科学について | 木村 武史(筑波大) |

【午後】

パネル 宗教の公共性とは何か—国家神道から考える—

代表者：磯前 順一

14:00-16:00 神道と公共性

磯前 順一(国際日文研)

植民地朝鮮の国家神道

青野 正明(桃山学院大)

明治神宮の「道義」概念

姜 海守(啓明大)

国家神道と公共性

島園 進(上智大)

コメンテータ：川村 覚文(東大)

司会：磯前 順一(国際日文研)

9月8日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | Ch.テイラーにおけるカトリシズムの必然性 | 鬼頭 葉子(桐蔭横浜大) |
| 2. 9:25- 9:45 | チャールズ・テイラーのカトリシズムと〈世俗の時代〉 | 坪光 生雄(一橋大) |
| 3. 9:50-10:10 | “Implicit Religion”概念の展開 | 今井 信治(筑波大) |
| 4. 10:15-10:35 | 現代世界と「終わり」の物語—終末論・予言・救い— | 笹尾 典代(恵泉学園大) |
| 5. 10:40-11:00 | P.L.バーガーにおける宗教論と神学論の関係性について | 渡邊 頼陽(一橋大) |
| 6. 11:05-11:25 | ハイラーの祈り論の今日的射程 | 宮嶋 俊一(大正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教概念の脱西洋的志向—A.シャルマを読む— | 東馬場郁生(天理大) |
| 8. 11:55-12:15 | W.キャントウェル・スミスと「宗教」 | 中村廣治郎(東大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|----------------------------|-------------|
| 1. 13:15-13:35 | 宗教学とポジショナリティ—宗教現象の対象化と身体性— | 平良 直(八洲学園大) |
| 2. 13:40-14:00 | 研究課題としての「施餓鬼」 | 池上 良正(駒大) |

パネル 宗教概念／宗教研究のグローバル化に関する比較研究

代表者：鶴岡 賀雄

14:10-16:10 宗教研究における制度と知

鶴岡 賀雄(東大)

国際学会誌の「宗教学」なるもの—知のヘゲモニーか適者生存か—

藤原 聖子(東大)

「宗教」から「宗教事象」へ—フランスの宗教研究の動向から—

伊達 聖伸(上智大)

「宗教学」の不在とサーサナー(宗教)—タイにおける宗教研究—

矢野 秀武(駒大)

コメンテータ：外川 昌彦(広島大)

司会：鶴岡 賀雄(東大)

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|--|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 倫理学者和辻哲郎の宗教性について | 山本栄美子(東大) |
| 2. 9:25- 9:45 信仰と知性—田邊元の場合— | 浅野 章 |
| 3. 9:50-10:10 西田哲学と「悲哀」 | 秋富 克哉(京都工芸繊維大) |
| 4. 10:15-10:35 西田とハイデガーの時間論—絶対現在と将来— | 岡 廣二 |
| 5. 10:40-11:00 後期ハイデガーの文体—「思い(Gedachtes)」と神聖なもの— | 小野 真(相愛大) |
| 6. 11:05-11:25 ケルケゴールとその祈り | 後藤 英樹(東洋大) |
| 7. 11:30-11:50 キリスト教正教とケルケゴール思想—祈りをめぐって— | 中里 巧(東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 ケルケゴールと19世紀デンマークの公共性 | 藤枝 真(大谷大) |
| 9. 12:20-12:40 ケルケゴールと仮名性の問題 | 谷塚 巖(京大) |

【午後】

- | | |
|---|----------------|
| 1. 14:00-14:20 M.テイラー『神の後』におけるケルケゴール批判について | 須藤 孝也(一橋大) |
| 2. 14:25-14:45 汝と絶対他者—「絆」の哲学のための試論— | 小林 敬(酪農学園大) |
| 3. 14:50-15:10 自然法と神の意志—グロティウスにおける法的有効性の度合— | 今出 敏彦(宮崎産業経営大) |
| 4. 15:15-15:35 スピノザにおける啓示の認識 | 大野 岳史(東洋大) |
| 5. 15:40-16:00 死と抗議と神義論—宗教哲学的考察— | 佐藤 啓介(聖学院大) |

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|---|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 カント哲学における神学の問題 | 南 翔一郎(京大) |
| 2. 9:25- 9:45 ルー・ザロメ／ニーチェの「生」の概念—《生への讃歌》読解— | 中路 正恒(京都造形芸術大) |
| 3. 9:50-10:10 ボンヘッフアーについての—考察 | 南部千代里(大正大) |
| 4. 10:15-10:35 シュヴァイツァーにおける幸福と正義の諸問題 | 岩井謙太郎(京大) |
| 5. 10:40-11:00 E.トレルチとW.ブセットにとつての第一次世界大戦 | 小柳 敦史(沼津高専) |
| 6. 11:05-11:25 信仰と救済のダイナミクス—スージェイムズの宗教論から— | 林 研(大谷大) |
| 7. 11:30-11:50 スラヴォイ・ジジエックにおける神の死の表象 | 加藤 喜之(東京基督教大) |

【午後】

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 13:15-13:35 マニエリスムの宗教性について | 掛川 富康(茨城キリスト教大) |
| 2. 13:40-14:00 趣味と美的仮象による共同体の形成—シラーのユートピア思想— | 田口 博子(工学院大) |

パネル 東洋の宗教思想と井筒俊彦

代表者：澤井 義次

14:10-16:10 イスラーム思想と井筒「東洋哲学」

鎌田 繁(東大)

井筒俊彦における東洋の宗教理解—宗教心理学の視点から—

河東 仁(立教大)

日本文学と井筒俊彦

若松 英輔(慶大)

井筒「東洋哲学」におけるインド宗教思想

澤井 義次(天理大)

コメンテータ・司会：市川 裕(東大)

第3部会

1103教室

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|--|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 幕末維新期におけるキリシタンの信仰観に対する一考察 | 内藤 幹生 |
| 2. 9:25- 9:45 近代日本知識人の〈矛盾〉理解をめぐる考察—キリスト者の場合— | 柴田真希都(日本学術振興会) |
| 3. 9:50-10:10 内村鑑三における「形而上学」の概念 | 渡部 和隆(京大) |
| 4. 10:15-10:35 聖書と日常生活に見られる靈性的直覚の世界 | 鳥居 興彦(宝塚大) |
| 5. 10:40-11:00 神・ヤハウェ・使い—創世記22章における神的存在の文学的機能— | 岩崎 大悟(関西学院大) |
| 6. 11:05-11:25 「ヨシヤの革命」とアラド遺跡 | 高橋 優子(明治学院大) |
| 7. 11:30-11:50 古代キリスト教のユダヤ人反駁文学に登場するユダヤ人像 | 高橋 博厚(関西学院大) |
| 8. 11:55-12:15 『ユダ福音書』における犠牲システム批判 | 新免 貢(宮城学院女子大) |

【午後】

パネル 修験道研究の回顧と展望

代表者：鈴木 正崇

- | | |
|---|----------------|
| 14:00-16:00 和歌森太郎の修験道研究とその発展・展望—宗教史の立場から— | 関口真規子(埼玉県立文書館) |
| 岸本英夫・堀一郎の修行論—宗教学の立場から— | 長谷部八朗(駒大) |
| 五来重の山岳信仰・修験道論—宗教民俗学の立場から— | 鈴木 昭英 |
| 修験道は民族宗教か?—宗教人類学の立場から— | 鈴木 正崇(慶大) |

コメンテータ：宮家 準(慶大)

司会：鈴木 正崇(慶大)

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 善悪を知る木と命の木—その言い換えが読みに与える影響— | 能勢 岳史(関西学院大) |
| 2. 9:25- 9:45 創世記1章1-3節の構造分析 | 野口 誠 |
| 3. 9:50-10:10 ジャン=ジョゼフ・スユランの神秘主義における「信仰」について | 渡辺 優(フランス国立社会科学高等研究院) |
| 4. 10:15-10:35 パウル・アルトハウスとナショナル・コンサーヴァティヴ | 深井 智朗(金城学院大) |
| 5. 10:40-11:00 剣を鋤に打ち直す—ユルゲン・モルトマンの『希望の倫理学』— | 福嶋 揚(青山学院大) |
| 6. 11:05-11:25 「プロヴィデンス入植誓約文」の成立経緯 | 中山 勉(東大) |
| 7. 11:30-11:50 建国期米国における自然的宗教—『ジェファソン聖書』を中心に— | 庄司 一平(東北大) |
| 8. 11:55-12:15 19世紀アメリカ合衆国の信教の自由と反カトリック主義 | 佐藤 清子(東大) |

【午後】

- | | |
|--|----------------|
| 1. 13:15-13:35 亡命者向け無線放送におけるルーマニア正教会に関する言論 | 奥山 史亮(日本学術振興会) |
| 2. 13:40-14:00 新教皇選出—ヨハネ・パウロ二世のメキシコでの影響力と余波— | 中村 千萩 |

パネル ファシズム期における古代理解

代表者：深澤 英隆

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 14:10-16:10 ドイツ民族主義宗教運動における神話表象 | 深澤 英隆(一橋大) |
| ファシズム期の非イデオロギー的宗教研究 | 松村 一男(和光大) |
| 反セム・アーリア中心主義的「アッシリア神話」をめぐる | 月本 昭男(立教大) |
| ファシズム期と日本神話 | 平藤喜久子(國學院大) |

コメンテータ：竹沢尚一郎(国立民博)

司会：深澤 英隆(一橋大)

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 適応の回路としての在日ムスリムのネットワーク | 川崎のぞみ(筑波大) |
| 2. 9:25- 9:45 中世イスラーム神学のユダヤ教理解 | 塩尻 和子(東京国際大) |
| 3. 9:50-10:10 伝承と禁欲主義(ズフト)との関わりについて | 加藤 瑞絵(上智大) |
| 4. 10:15-10:35 現代インドネシアにおけるイスラームと医療の関係についての考察 | 嶋田 弘之(東大) |
| 5. 10:40-11:00 バングラデシュにおけるセキュラリズム憲法とイスラーム | 外川 昌彦(広島大) |
| 6. 11:05-11:25 食が人をつなぐ時—ラマダーン月の断食と共食— | 八木久美子(東京外国語大) |
| 7. 11:30-11:50 ユダヤ教における子ども観の変遷 | 勝又 悦子(同志社大) |
| 8. 11:55-12:15 ジャンケレヴィッチの郷愁論—「真の祖国」を中心にして— | 奥堀亜紀子(神戸大) |
| 9. 12:20-12:40 マイモニデスの神学 | 神田 愛子(同志社大) |

【午後】

- | | |
|--|----------------|
| 1. 14:00-14:20 中世ユダヤ教における反キリスト教論争文学の形成と展開 | 志田 雅宏(東大) |
| 2. 14:25-14:45 経験とは何か—哲学的諸解釈とブーバーの宗教的解釈— | 大川 武雄(早大) |
| 3. 14:50-15:10 マルティン・ブーバーのエレミヤ書解釈 | 田島 卓(東大) |
| 4. 15:15-15:35 20世紀初頭のドイツにおける「ユダヤ教の本質」をめぐる論争 | 丸山 空大(日本学術振興会) |
| 5. 15:40-16:00 人間なるものの意味—レヴィナスのラビ・ハイム解釈について— | 村上 暁子(日本学術振興会) |

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|---|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 プロクロスにおける魂の動をめぐって | 土井 裕人(筑波大) |
| 2. 9:25- 9:45 前期クザーヌス思想における否定神学的思考の展開 | 島田 勝巳(天理大) |
| 3. 9:50-10:10 アンセルムスのinsipiens(愚かなる者)について | 矢内 義顕(早大) |
| 4. 10:15-10:35 もう一人のエックハルト—Eckhart von Gründigの知性論— | 田島 照久(早大) |
| 5. 10:40-11:00 シェリングとシュライエルマッハーにおける自然的宗教について | 諸岡道比古(弘前大) |
| 6. 11:05-11:25 「生命」の存在論—物質、精神、目的をめぐって— | 冲永 宜司(帝京大) |
| 7. 11:30-11:50 「かのように」の哲学とスピリチュアリティ概念 | 堀 雅彦(北星学園大) |
| 8. 11:55-12:15 二元論克服への道—哲学と治療の相互関係— | 桑野 萌(ラモン・ルル大) |

【午後】

- | | |
|--|---------------------|
| パネル 宗教研究における講研究の意義と可能性 | 代表者：森 悟朗 |
| 14:10-16:10 宗教研究における講研究の意義と課題—講研究会の成果をもとに— | 森 悟朗(國學院大北海道短大部) |
| 近代神社の講的組織—気多講社を事例として— | 市田 雅崇(國學院大) |
| 講を支える「靈験」の原理—善宝寺龍王講の事例を中心に— | 阿部 友紀(東北大) |
| 漁業者の寺社参拝習俗から見た講—三重県南部の事例から— | 高木 大祐(成城大) |
| 信仰・文化・ノスタルジー—筑波山の窟をめぐる人々— | 天田 顕徳(筑波大) |
| | コメンテータ：佐藤 憲昭(駒大) |
| | 司会：森 悟朗(國學院大北海道短大部) |

第5部会

1201教室

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 「水子供養」と韓国女性—落胎児薦度専門寺院の信者層— | 淵上 恭子 |
| 2. 9:25- 9:45 「東義大校事件」をめぐる死者のナショナルな地位について | 田中 悟(神戸大) |
| 3. 9:50-10:10 ナショナリズムの中の仏教—日韓の歴史認識をめぐる— | 工藤 英勝(曹洞宗宗務庁) |
| 4. 10:15-10:35 グレゴリオ・デ・セスペデスと文禄・慶長の役 | 谷口 智子(愛知県立大) |
| 5. 10:40-11:00 陸西星の『楞嚴経』解釈について | 長澤 志穂(南山宗教文化研究所) |
| 6. 11:05-11:25 大谷光瑞と台湾—高雄「逍遙園」を中心にして— | 柴田 幹夫(新潟大) |
| 7. 11:30-11:50 慈済会所属者の社会的属性の変遷 | 寺沢 重法(北大) |
| 8. 11:55-12:15 近代中国東北部における日中仏教関係史の一断面 | 野世 英水(龍大) |
| 9. 12:20-12:40 ブータンの「国民総幸福(GNH)」にみる仏教と経済 | 本林 靖久(大谷大) |

【午後】

パネル 近代日本仏教史のターニング・ポイント

代表者：林 淳

14:00-16:00 「人別」から「教化」へ

林 淳(愛知学院大)

大教院離脱と須弥山説—花谷安慧『天文三字経』を読む—

岡田 正彦(天理大)

仏教公認運動・再考

オリオン・クラウタウ(ハイデルベルク大)

宗門系大学の成立—宗乗から宗学、そして仏教学へ—

江島 尚俊(大正大)

コメンテータ：谷川 穰(京大)

司会：林 淳(愛知学院大)

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 宣教使対宣教師 | 小林 威朗(國學院大) |
| 2. 9:25- 9:45 寛克彦研究の現状と展望 | 中道 豪一(広島商船高専) |
| 3. 9:50-10:10 宮地巖夫著『本朝神仙記傳』について | 黒田 宗篤(阪大) |
| 4. 10:15-10:35 久米邦武の仏教観 | 西田みどり(大正大) |
| 5. 10:40-11:00 北一輝の靈的日蓮主義—合法と非合法のあいだ— | 津城 寛文(筑波大) |
| 6. 11:05-11:25 昭和戦前期における神社と神道—「国家神道」の理想と現実— | 藤田 大誠(國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 「人間宣言」は人間宣言に非ず—昭和21年元旦詔書の—考察— | 東郷 茂彦(國學院大) |
| 8. 11:55-12:15 折口信夫の靈魂観—「たま」と産靈— | 安藤 礼二(多摩美術大) |

【午後】

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1. 13:15-13:35 職人道具の宗教性—巻物と儀礼から— | 小池 淳一(国立歴博) |
| 2. 13:40-14:00 日本宗教史と災害 | 米井 輝圭(昭和女子大) |

パネル 生殖をめぐる問題と宗教—日中韓の事例から—

代表者：小林奈央子

14:10-15:50 中国・西双版纳タイ族からみる出産儀礼とジェンダー

磯部 美里(愛知大)

中絶問題の背景にある宗教と社会—1970年代韓国を中心に—

金 律里(東大)

女性と「聖域」をめぐる言説の変容に関する—考察—

小林奈央子(愛知学院大)

コメンテータ：絹川 久子(ルーテル学院大)

司会：小林奈央子(愛知学院大)

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 中世日記文学にみる「被く」の宗教性—(奥)の視点から— | 川本 豊(佛教大) |
| 2. 9:25- 9:45 能にみる告白とその語彙について | 今泉 隆裕(桐蔭横浜大) |
| 3. 9:50-10:10 禁裏御師に関する—考察 | 加崎 千恵(皇學館大) |
| 4. 10:15-10:35 伊勢神宮の式年遷宮と御師 | 八幡 崇経(皇學館大) |
| 5. 10:40-11:00 近世英彦山における神道 | 山口 正博(香蘭女子短大) |
| 6. 11:05-11:25 山岳信仰と日本文化—キリスト教の視点から— | 野村 誠(共愛学園前橋国際大) |
| 7. 11:30-11:50 ヴァリニャーノの日本宗教理解 | 狹間 芳樹(京都光華女子大) |
| 8. 11:55-12:15 「神の国」と桃山風俗画—イェズス会系屏風絵図像の再検討— | 日沖 直子(南山宗教文化研究所) |
| 9. 12:20-12:40 新渡戸稲造の日本文化論に関する—考察 | 森上 優子(文部科学省) |

【午後】

- | | |
|--|--------------|
| 1. 14:00-14:20 二神誓約伝承解釈における「詔直」について | 小濱 歩(國學院大) |
| 2. 14:25-14:45 近世日本における四恩説の展開—儒仏関係の視点から— | 三浦 雅彦(愛知学院大) |
| 3. 14:50-15:10 白山—三月十八日という時日— | 小林 一葵 |
| 4. 15:15-15:35 神宮文庫の富士信仰関係史料 | 大谷 正幸 |
| 5. 15:40-16:00 森林保全の課題と展望—神宮林の事例から— | 神守 昇一(皇學館大) |

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 神社年中行事の成立過程について—農耕行事を事例にあげて— | 鈴木 聡子(國學院大) |
| 2. 9:25- 9:45 美保神社青柴垣神事に関する—考察 | 竹内 雅之(國學院大) |
| 3. 9:50-10:10 近世日本武家霊廟論序説—神・仏・儒のあいだ— | 井上 智勝(埼玉大) |
| 4. 10:15-10:35 熊沢蕃山の「大道」と「神道」 | 井関 大介(東洋大) |
| 5. 10:40-11:00 藤樹と蕃山の経典(中庸・論語)解釈の違いについて | 鈴木 保實 |
| 6. 11:05-11:25 吉川惟足の神代巻解釈について | 徳橋 達典(國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 山崎闇斎の反仏教的言説—日本近世における朱子学と仏教— | 富澤宣太郎(東大) |
| 8. 11:55-12:15 太宰春台による仏典の「再構成」—『修刪阿弥陀經』をめぐる— | 森 和也(中村元東方研究所) |

【午後】

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 13:15-13:35 『古事記伝』における宗教観 | 落合 直人(皇學館大) |
| 2. 13:40-14:00 後期水戸学の祭政一致論 | 齋藤 公太(東大) |

パネル 史料から見た近世・近代移行期の神職

代表者：山口 剛史

14:10-16:10 史料から見た伊勢神宮禰宜の叙位過程

石川 達也(戸田市立郷土博物館)

矢野玄道と伯家神道—『伯家問答』から見た鎮魂祭—

山口 剛史(皇學館大)

史料から見た復興神祇官

三ツ松 誠(東大)

明治維新期の神道教師—井上正鐵門中の史料を通じて—

荻原 稔(都立青峰学園)

コメンテータ：松本 久史(國學院大)

司会：松本 丘(皇學館大)

第7部会

1203教室

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 出口なおの教祖化過程について—象徴解釈の立場から— | 長崎 誠人(近大姫路大) |
| 2. 9:25- 9:45 天理教の立教をめぐる | 澤井 治郎(東北大) |
| 3. 9:50-10:10 金光教第二世代による「一般の宗教の研究」とその背景 | 藤井 麻央(國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 新宗教における教学活動の一考察—大本を事例に— | 梶 龍輔(駒大) |
| 5. 10:40-11:00 放送法制の形成過程における「宗教」の布置 | 菅 直子(東洋英和女学院大) |
| 6. 11:05-11:25 「衛星芸術」の宗教思想—対抗文化、地球村、生のネットワーク— | 榎本 香織(東大) |
| 7. 11:30-11:50 児童文学にみる現代的宗教性の諸相 | 大澤千恵子(恵泉女学園大) |
| 8. 11:55-12:15 テレビドラマ『妖怪人間ベム』における仏教思想 | 三浦 宏文(実践女子短大) |
| 9. 12:20-12:40 「神秘・呪術ブーム」と少女—『マイバースディ』の事例から— | 橋迫 瑞穂(立教大) |

【午後】

パネル 水子供養研究の達成と課題

代表者：清水 邦彦

14:00-15:40 水子供養研究の今日的課題—前近代との連続性を中心に—
ジェンダー・セクシュアリティの観点からみた水子供養
新型出生前診断と妊娠中絶

前川 健一(東洋哲学研究所)

猪瀬 優理(龍大)

清水 邦彦(金沢大)

コメンテータ：木村 文輝(愛知学院大)

司会：前川 健一(東洋哲学研究所)

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|---|--------------------------|
| 1. 9:00- 9:20 キリストの幕屋と日猶同祖論 | 山本 伸一(京大) |
| 2. 9:25- 9:45 地域振興と聖地戦略—青森県新郷村キリストの墓の事例— | 岡本 亮輔(成蹊大) |
| 3. 9:50-10:10 長崎教会群の世界遺産化とカクレキリシタン集落 | デラコルダ・カワシマ・ティンカ(日本学術振興会) |
| 4. 10:15-10:35 近代日本の末日聖徒イエス・キリスト教会布教戦略の特徴について | 杉内 寛幸(國學院大) |
| 5. 10:40-11:00 「病」からみる新宗教と代替療法 | 武井 順介(立正大) |
| 6. 11:05-11:25 現代における「生まれ変わり」思想の諸相 | 竹倉 史人(東京工業大) |
| 7. 11:30-11:50 日本におけるポストモダンの受容と伝統宗教の無根拠性 | 松野 智章(東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 霊性としての仏教—ハンガリー人関心層のインタビュー調査から— | 弓山 達也(大正大) |

【午後】

- | | |
|---|------------|
| 1. 13:15-13:35 ルドルフ・シュタイナーにおける神智学と「科学性」 | 野口 孝之(東大) |
| 2. 13:40-14:00 ルドルフ・シュタイナーの自己認識と霊性 | 西井 美穂(広島大) |

パネル 近現代日本の民間精神療法の展開

代表者：塚田 穂高

14:10-16:10 宗教・医療・精神療法—昭和戦前期における差異化の言説と困難—
瞑想における姿勢の要求と身体観
岡田式静坐法の応用例—昭和初期『静坐』誌を資料として—
新宗教の発生・展開過程における「精神療法」の位置
「精神療法」の医療化—スピリチュアル・セラピーの分析から—

平野 直子(早大)

野村 英登(二松學舎大)

栗田 英彦(東北大)

塚田 穂高(國學院大)

ヤニス・ガイタニディス(千葉大)

コメンテータ：對馬 路人(関西学院大)

司会：塚田 穂高(國學院大)

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|--|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 第一結集における小戒をめぐる問題 | 龍口 明生(龍大) |
| 2. 9:25- 9:45 法華經におけるsamdhābhāṣyaなる用語の再検討 | 西 康友(中央学術研究所) |
| 3. 9:50-10:10 大乘仏教の起源について | 下田 正弘(東大) |
| 4. 10:15-10:35 『十地經』における「功用」と「無功用」について | 平賀由美子(高野山大) |
| 5. 10:40-11:00 『無量寿經』四十八願における国中の入天と菩薩について | 緒方 義英(東九州短大) |
| 6. 11:05-11:25 『阿毘曇心論』業品における壊僧の罪について | 智谷 公和(相愛大) |
| 7. 11:30-11:50 世親による唯心論の確立 | 那須 円照(龍大) |
| 8. 11:55-12:15 『釈軌論』第二章所引の阿含と世親・徳慧による解釈の特色 | 堀内 俊郎(東洋大) |
| 9. 12:20-12:40 『成業論』における無我論 | 日比 佑香(立正大) |

【午後】

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| パネル 妙好人における無対辞の思想 | 代表者：吾勝 常行 |
| 14:00-16:00 妙好人の無対辞思想 | 菊藤 明道(成美大) |
| 浄土真宗と妙好人—無対辞思想との関わり— | 林 智康(龍大) |
| 妙好人を無対辞の境地へ導いたもの | 藤 能成(龍大) |
| ヨーロッパの妙好人と「無対辞」の思想 | 那須 英勝(龍大) |
| 妙好人の認識の在り方と世界観—無対辞による苦しみの超越— | 中尾 将大(大阪大谷大) |
| | コメンテータ・司会：吾勝 常行(龍大) |

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 白傘蓋陀羅尼から楞嚴呪への改変 | 木村 俊彦(四天王寺大) |
| 2. 9:25- 9:45 生死法についての一考察 | 林 瑞蘭(立正大) |
| 3. 9:50-10:10 インド哲学における仏教批判 | 佐竹 正行(東洋大) |
| 4. 10:15-10:35 初期瑜伽行派文献におけるdhātuについて | 田口 恵敬(立正大) |
| 5. 10:40-11:00 浄土の莊嚴と五念門の関係考—特に広略相入を視座として— | 溪 英俊(浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 6. 11:05-11:25 中国隋唐期における仏身論の理解について | 藤野 泰二(立正大) |
| 7. 11:30-11:50 光背の形成とその性質 | 内藤 善之(立正大) |
| 8. 11:55-12:15 袈裟の功德をめぐって | 松村 薫子(大和ミュージアム) |

【午後】

- | | |
|--|------------|
| 1. 13:15-13:35 空の思想への一視点 | 横井 滋子(広島大) |
| 2. 13:40-14:00 立正大学図書館所蔵河口慧海旧蔵書について—洋装本を中心に— | 庄司 史生(立正大) |

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| パネル 雑誌メディアからみた近代宗教史 | 代表者：大谷 栄一 |
| 14:10-16:10 明治仏教史における雑誌と結社 | 大谷 栄一(佛教大) |
| キリスト教メディアの近代 | 星野 靖二(國學院大) |
| 地方神職会会報からみる近代神道史 | 藤本 頼生(國學院大) |
| 英文仏教雑誌に見る東西の「対話」 | 吉永 進一(舞鶴高専) |
| | コメンテータ：石井 研士(國學院大) |
| | 司会：大谷 栄一(佛教大) |

第9部会

1304教室

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20 法然『和語燈録』における「三心」 | 伊藤 真宏(佛教大) |
| 2. 9:25- 9:45 法然聖人所引の『弁頭密二教論』についての一考察 | 永原 智行 |
| 3. 9:50-10:10 「選択集」と「興福寺奏状」の対応について | 菱木 政晴(同朋大) |
| 4. 10:15-10:35 親鸞における「絶対」の語義—天台所説「絶待」の語をめぐって— | 四夷 法顕(龍大) |
| 5. 10:40-11:00 親鸞における衆生利益に関して | 杉田 了(龍大) |
| 6. 11:05-11:25 親鸞における往生表現の課題—特に〈いたる〉を中心として— | 武田未来雄(真宗大谷派教学研究研究所) |
| 7. 11:30-11:50 「獲信見敬大慶喜」部分の推敲について | 玉木 興隆(龍大) |
| 8. 11:55-12:15 親鸞における「語り」の位置 | 内記 洸(親鸞仏教センター) |
| 9. 12:20-12:40 名号本尊成立の背景について | 安藤 章仁(龍大) |

【午後】

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 14:00-14:20 親鸞における宿業観の一考察 | 長宗 博之(龍大) |
| 2. 14:25-14:45 『教行信証』信巻における『集諸経礼懺儀』引用の意義 | 藤原 智(親鸞仏教センター) |
| 3. 14:50-15:10 親鸞伝再考—玉日姫は実在したか?— | 松尾 剛次(山形大) |
| 4. 15:15-15:35 「二河白道の譬喩」の物語性 | 山本 浩信(浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 5. 15:40-16:00 『見聞集』に関する一考察—『般舟讚』抄出文について— | 西河 唯(龍大) |

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 存覚『報恩記』における師恩の説示 | 脇 智子(龍大) |
| 2. 9:25- 9:45 本願寺教如の理念 | 御手洗隆明(真宗大谷派教学研究研究所) |
| 3. 9:50-10:10 真宗談義本における教学理解の特徴について | 能美 潤史(浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 4. 10:15-10:35 清沢満之門下における「信念」 | 春近 敬(武蔵野大) |
| 5. 10:40-11:00 大正教養主義と仏教 | 碧海 寿広(龍大) |
| 6. 11:05-11:25 戦後仏教史研究の一断面—二葉憲香の親鸞論— | 近藤俊太郎(龍大) |
| 7. 11:30-11:50 ハワイ真宗念仏者マツダ・ハルの機の立場 | 藤原ワンドラ睦(龍大) |
| 8. 11:55-12:15 仏教と社会悪 | 上村 岳生(東大) |

【午後】

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. 13:15-13:35 鈴木大拙の東洋的静寂と瞑想 | 清水 守拙(帝塚山学院大) |
| 2. 13:40-14:00 鈴木大拙と現代 | 嶋本 浩子(日本経済大) |

パネル 浄土真宗におけるソーシャル・キャピタル

代表者：長岡 岳澄

14:10-16:10 寺院の現状と地域社会との関係

長岡 岳澄(中央仏教学院)

真宗寺院の住職家族がもつ役割とソーシャル・キャピタル

横井 桃子(阪大)

ビハラー活動を支えるソーシャル・キャピタル

坂原 英見(浄土真宗本願寺派総合研究所)

心理学からみる浄土真宗のソーシャル・キャピタル

伊東 秀章(龍大)

浄土真宗における信仰と社会実践

菊川 一道(浄土真宗本願寺派総合研究所)

コメンテータ・司会：藤丸 智雄(浄土真宗本願寺派総合研究所)

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|--|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 始願本尊と『観心本尊抄』をめぐって | 桑名 法晃(立正大) |
| 2. 9:25- 9:45 日蓮の起顕竟の法門と法華経に登場する多宝如来について | 関戸 堯海(立正大) |
| 3. 9:50-10:10 日蓮遺文における人物の引用について | 芹澤 寛隆(東北大) |
| 4. 10:15-10:35 日蓮における「龍女成仏」理解の系譜—「即身成仏」の文脈で— | 間宮 啓壬(身延山大) |
| 5. 10:40-11:00 寛永19年版『録内御書』に関する新知見 | 堀部 正円(日蓮正宗教学研鑽所) |
| 6. 11:05-11:25 敬台院万姫と法華信仰—江戸法詔寺の興廃をめぐって— | 長倉 信祐(日蓮正宗教学研鑽所) |
| 7. 11:30-11:50 日蓮論再考—あるキリスト者の日蓮像を通して— | 笠井 正弘 |
| 8. 11:55-12:15 近代における法華仏教と生命言説—法華会の事例から— | 大西 克明(東洋大) |
| 9. 12:20-12:40 仏教文学とは何か | 千葉 俊一(東大) |

【午後】 ※本パネルは1306教室ではなく國學院大學博物館(学術メディアセンターB1F)で行われます。

パネル 聖なる場としての伊勢神宮—その聖性を考える—	代表者：遠藤 潤
14:00-15:40 考古学から見た神宮の祭式と神宝	笹生 衛(國學院大)
鎌倉時代における僧徒の参宮と神道説の形成	伊藤 聡(茨城大)
伊勢参宮と神宮の聖地性—宮域と町と参宮者の信仰と意識—	櫻井 治男(皇學館大)
	コメンテータ：加瀬 直弥(國學院大)
	司会：遠藤 潤(國學院大)

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 排仏崇仏論争では無かった—蘇我氏と物部氏の祭祀と神観念— | 有働 智瑛(國學院大) |
| 2. 9:25- 9:45 綜芸種智院攷 | 武内 孝善(高野山大) |
| 3. 9:50-10:10 『由良開山法燈国師法語』と唱導文学 | 龍口 恭子(東方学院) |
| 4. 10:15-10:35 『自戒集』における「密参録」の問題—一休の宗門批判として— | 飯島 孝良(東大) |
| 5. 10:40-11:00 禅浄関係を巡って—『夢中問答集』～『谷響集』を考察する— | 高柳さつき(中村元東方研究所) |
| 6. 11:05-11:25 心所の諸法について—『法門備忘録』を中心に— | 石川 美恵(東洋大) |
| 7. 11:30-11:50 皇円と阿闍利池伝承について—信州善光寺を中心に— | 小林 順彦(大正大) |
| 8. 11:55-12:15 偽経『清浄法行経』の受容と展開—日本における事例を中心に— | 鈴木 英之(早大) |

【午後】

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 13:15-13:35 冠婚葬祭における小謡の役割 | 永原 順子(高知高専) |
| 2. 13:40-14:00 葬儀化する初盆と葬祭業の関与 | 山田 慎也(国立歴博) |

パネル 宗教表象論再考—近現代日本における表象主体/客体の検討から—	代表者：茂木謙之介
14:10-16:10 John Russell Youngが描く天皇像—表象する主体の自己規定から—	ファクンド・ガラシーノ(阪大)
皇族を神に祀る—秩父神社における秩父宮神格化をめぐって—	茂木謙之介(東大)
“在るべき霊場像”の生成—60・70年代の恐山をめぐって—	大道 晴香(國學院大)
読みの運動とは何か—協働表象(論)を再考する—	永岡 崇(南山宗教文化研究所)
	コメンテータ：川村 邦光(阪大)
	司会：茂木謙之介(東大)

第11部会

1401教室

..... 9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 『芦屋道満大内鑑』における一考察 | 太田 俊明 |
| 2. 9:25- 9:45 金子みすゞの宗教心について | 窪寺 俊之(聖学院大) |
| 3. 9:50-10:10 心理学における「救済」思想の研究—A. マズローを中心に— | 今野 啓介(東大) |
| 4. 10:15-10:35 マーク・エプスタインにおける精神分析臨床と仏教瞑想 | 葛西 賢太(宗教情報センター) |
| 5. 10:40-11:00 心身医学と宗教的体験—呼吸と瞑想— | 半田 栄一(中央大) |
| 6. 11:05-11:25 死後世界観にみる医療者の諸相 | 北沢 裕(東洋英和女学院大) |
| 7. 11:30-11:50 心理学理論における宗教と死—意味管理理論— | イーリヤ・ムスリン(東大) |
| 8. 11:55-12:15 現実とはなにかを問い直す—合理性概念における普遍と相対— | 谷内 悠(東大) |
| 9. 12:20-12:40 宇宙の起源—デザイナーとしての神概念の再検討— | 十津 守宏(鈴鹿短大) |

【午後】

- | | |
|---|------------|
| 1. 14:00-14:20 宗教と科学—脳科学・宗教多元主義の間で何が問われるのか— | 高田 信良(龍大) |
| 2. 14:25-14:45 宗教の起源・再考—近年の進化生物学と脳科学の成果から— | 中野 毅(創価大) |
| 3. 14:50-15:10 進化生物学を用いた宗教理論の分析—普遍的言説の現代的回帰— | 藤井 修平(東大) |
| 4. 15:15-15:35 神経生理学からみたユダヤ教とキリスト教—リベットの研究から— | 星川 啓慈(大正大) |

..... 9月8日(日)

【午前】

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 英彦山派在地組織の葛藤—唐津を事例に— | 中村 琢(福岡大) |
| 2. 9:25- 9:45 湯立の神楽と「白い布」 | 三村 泰臣(広島工業大) |
| 3. 9:50-10:10 巫俗の継承について—弘前市の村祈祷を事例として— | 村上 晶(筑波大) |
| 4. 10:15-10:35 沖縄本島における村獅子の分布について | 鈴木 一馨(中村元東方研究所) |
| 5. 10:40-11:00 宮崎県西都市銀鏡におけるカクラ社と儀礼 | 鈴木 良幸(名大) |
| 6. 11:05-11:25 「元祖女みこし」の変遷にみる地域社会と神田祭 | 秋野 淳一(國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 都市郊外における小規模どんと祭の機能—仙台市泉区松森の事例— | 高橋(小久保) 嘉代(東北大) |
| 8. 11:55-12:15 流行神の誕生と展開—長野県飯田市貧乏神社を事例に— | 黄 緑萍(東北大) |

【午後】

- | | |
|--|------------|
| 1. 13:15-13:35 漁村における魚供養をめぐる—南伊勢町奈屋浦の事例から— | 寺田 喜朗(大正大) |
| 2. 13:40-14:00 伝承を生きる—奄美・与論島における神職の家族史— | 町 泰樹(志學館大) |

..... パネル ところの医療と宗教—慈悲と支配をめぐる—

代表者：戸田 游晏

14:10-16:10 懺悔と慈悲—ゆるしについて—

杉岡 信行(近大)

護摩祈祷における修法者のところの変容—縁起と同時性—

妹尾 諭(大阪経済大)

Scientologyから見る「反精神医学」の宗教性

戸田 游晏(宇部フロンティア大)

一つ掲げとムジナの畏—ところの医療の近代—

實川 幹朗(姫路獨協大)

コメンテータ：津城 寛文(筑波大)

司会：實川 幹朗(姫路獨協大)

9月7日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | オランダ民族学における呪術研究—G.J.ヘルトを中心に— | 相澤 里沙(日本学術振興会) |
| 2. 9:25- 9:45 | 自民族民族誌—オーストラリア先住民アラント民族の場合— | 飯嶋 秀治(九大) |
| 3. 9:50-10:10 | 伝播儀礼の改変にたいして伝播先の既存儀礼が与える影響 | 宇野 功一(京都造形芸術大) |
| 4. 10:15-10:35 | 南インドの伝統医療を活用した修道会の社会福祉事業 | 岡光 信子(中央大) |
| 5. 10:40-11:00 | せめぎあう霊力—ケニア海岸地方ドゥルマのキリスト教と妖術— | 岡本 圭史(九大) |
| 6. 11:05-11:25 | ペンテコスタリズムとネオリベラリズム—アフリカの事例から— | 村上 辰雄(上智大) |
| 7. 11:30-11:50 | オリシャ崇拝と「奴隷」—アメリカ黒人の社会運動をめぐる— | 小池 郁子(京大) |
| 8. 11:55-12:15 | キューバにおけるサンテリア信仰の諸相 | 井上 大介(創価大) |
| 9. 12:20-12:40 | 60年代のメキシコ系アメリカ人農場労働者の社会運動の宗教性 | 岩崎 賢(茨城大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 14:00-14:20 | イギリスにおけるスピリチュアリティと社会的給付金の関係 | 河西瑛里子(国立民博) |
| 2. 14:25-14:45 | 旧日本植民地におけるキリスト教と日本語—台湾の日語教会から— | 藤野 陽平(国際宗教研究所) |
| 3. 14:50-15:10 | 単独教会をこえた共同体の諸相—在日ブラジル人の場合— | 星野 壮(大正大) |
| 4. 15:15-15:35 | シャーマニズムにおける霊的情報の伝達—ブォの事例— | アルタンジョラー |
| 5. 15:40-16:00 | 「憑祈禱」再考 | 佐藤 憲昭(駒大) |

9月8日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 台風災害における被災者の宗教的影響—狩野川台風を事例に— | 魚尾 和瑛(大正大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 千川上水における流域環境の変化と宗教的構築物 | 深田伊佐夫(中央学術研究所) |
| 3. 9:50-10:10 | 東日本大震災後におけるコミュニティの再編と祭礼の持続について | 滝澤 克彦(東北大) |
| 4. 10:15-10:35 | 事後インタビューからみる「臨床宗教師」研修の効果 | 森田 敬史(東北大) |
| 5. 10:40-11:00 | 死者の「卒業証書」—被災した学校における慰霊と癒し— | 大村 哲夫(東北大) |
| 6. 11:05-11:25 | 被災地における「心霊現象」と宗教者の対応 | 高橋 原(東北大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教者の対人支援—名取市における仮設住宅訪問活動について— | 安部 智海(浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | 災害救援マップと宗教施設 | 稲場 圭信(阪大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------|
| 1. 13:15-13:35 | パラオ諸島における慰霊巡拝の展開と慰霊碑 | 中山 郁(國學院大) |
| 2. 13:40-14:00 | 戦地慰霊をめぐる超宗派的動向—『中外日報』の記事を中心に— | 西村 明(東大) |

パネル 神道の中世的展開を考える

代表者：佐藤 真人

14:10-16:10 中世の伊勢斎王についての朝廷対応の変遷

落合 敦子(國學院大)

伊勢神宮神職の中世的展開

古谷 易士(國學院大)

中世祇園社の年中行事—神仏習合儀礼の展開—

松本 昌子(國學院大)

中世神道美術と神道論の歴史的位置

三橋 正(明星大)

コメンテータ・司会：佐藤 真人(北九州市立大)

第13部会

1403教室

..... 9月7日(土)

【午前】

- | | |
|--|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 教育の神学—ニューマンとティリッヒを手がかりに— | 近藤 剛(神戸国際大) |
| 2. 9:25- 9:45 明治期教育系雑誌と宗教と教育の関係論—井上哲次郎以前と以後— | 齋藤 知明(大正大) |
| 3. 9:50-10:10 宗教教育における規範教授の評価の両義性問題 | 小山 一乘(駒大) |
| 4. 10:15-10:35 公立学校における「宗教的情操教育」の教材のあり方について | 森 一郎(関西学院大) |
| 5. 10:40-11:00 障害者差別解消と真宗—ソーシャルキャピタルの構築に向けて— | 頼尊 恒信(熊本学園大) |
| 6. 11:05-11:25 親鸞思想の今日的意義—患者の社会的苦痛をめぐる— | 鈴木 朋子(お茶の水女子大) |
| 7. 11:30-11:50 生殖の正当性をめぐる神学的—考察 | 朝香 知己(同志社大) |
| 8. 11:55-12:15 「親」という教え—生殖ツアーから見える「問い」— | 堀内みどり(天理大) |

【午後】

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| パネル 「無縁社会」における宗教の可能性について—釜ヶ崎の事例から— | 代表者：宮本要太郎 |
| 14:00-16:00 釜ヶ崎の地域史における宗教の位置づけ | 白波瀬達也(大阪市立大) |
| 釜ヶ崎における韓国系キリスト教会の支援活動 | 中西 尋子(関西学院大) |
| 釜ヶ崎における天理教の活動—その歴史と現在— | 金子 昭(天理大) |
| 「無縁社会」と宗教者の接点としてのライフストーリーについて | 宮本要太郎(関西大) |
| | コメンテータ：稲場 圭信(阪大) |
| | 司会：渡辺 順一 |

..... 9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 ナイチンゲール看護とホリスティック医療—信仰と科学— | 坂本 進(マリア山荘霊性センター) |
| 2. 9:25- 9:45 宗教者にとっての「いのち」とは何か？ | 冲永 隆子(帝京大) |
| 3. 9:50-10:10 自死念慮者支援における宗教者の役割 | 竹本 了悟(浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 4. 10:15-10:35 自死念慮者に対する相談活動におけるセルフケアと仏教 | 小川 有閑(国際宗教研究所) |
| 5. 10:40-11:00 在宅緩和ケアの現場での「お迎え」をめぐるコミュニケーション | 相澤 出(爽秋会岡部医院) |
| 6. 11:05-11:25 終末期体験研究の現在—宗教と医療のあいだ— | 諸岡 了介(島根大) |
| 7. 11:30-11:50 悟りとレジリエンス | 井上ウイマラ(高野山大) |
| 8. 11:55-12:15 ディープ・エコロジー運動における自己実現思想 | 黒田純一郎(東大) |

【午後】

- | | |
|--|---------------|
| 1. 13:15-13:35 「宗教法人の公益性」言説の誕生 | 竹内 喜生(東大) |
| 2. 13:40-14:00 ポストコロナル・キリスト教神学は語ることができるか | 村山 由美(名古屋商科大) |

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| パネル 公共空間で心のケアを提供する宗教者の養成とその課題 | 代表者：谷山 洋三 |
| 14:10-15:50 アメリカのチャプレン教育プログラム | 小西 達也(武蔵野大) |
| 臨床パストラル・カウンセラーの養成 | フルデマール・キッペス
(臨床パストラルケア教育研究センター) |
| 臨床宗教師の養成 | 谷山 洋三(東北大) |
| | コメンテータ：高橋 原(東北大) |
| | 司会：谷山 洋三(東北大) |

9月7日(土)

【午前】

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 対話から行動へー若者と宗教多元主義プロジェクトー | 山梨有希子(大正大) |
| 2. 9:25- 9:45 修復的司法と宗教多元主義 | 本間 美穂(東大) |
| 3. 9:50-10:10 地域レベルでの宗教間対話 | 武藤 亮飛(筑波大) |
| 4. 10:15-10:35 「民族まつり」の展開と課題 | 飯田 剛史(大谷大) |
| 5. 10:40-11:00 スリランカ移民とヒンドゥー寺院ーカナダ、ドイツ等に取材してー | 山下 博司(東北大) |
| 6. 11:05-11:25 ペンテコスタリズムの越境性ー韓国から日本への展開ー | 野口 生也(アムステルダム自由大) |
| 7. 11:30-11:50 31年後のハワイ日系人宗教調査・中間報告 | 富田 隆元(駒大) |
| 8. 11:55-12:15 宗教弘通のアマルガムー華人社会におけるチベット仏教の新展開ー | 別所 裕介(広島大) |
| 9. 12:20-12:40 共有宗教文化とオーストラリア | 濱田 陽(帝京大) |

【午後】

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| パネル フェミニスト人類学がまなぐ女性の宗教的実践 | 代表者：川橋 範子 |
| 14:00-16:00 インTRODクシヨンー解釈の枠組みー | 川橋 範子(名古屋工業大) |
| エジプト女性の宗教実践にみる「自己承認」 | 嶺崎 寛子(愛知教育大) |
| インドにおける断食と自己犠牲のポリティクス | 松尾 瑞穂(新潟国際情報大) |
| 「出家」を問い直すーミャンマー女性の宗教実践の事例からー | 飯國有佳子(大東文化大) |
| | コメンテータ：三木 英(大阪国際大) |
| | 司会：小松加代子(多摩大) |

9月8日(日)

【午前】

- | | |
|--|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 宗教間対話から宗教間体験へー現象学的アプローチー | 古荘 匡義(大谷大) |
| 2. 9:25- 9:45 秋月龍珉のみる西田幾多郎と同世代禅者牧師ー宗教間対話の試みー | 高橋 勝幸(国際日文研) |
| 3. 9:50-10:10 柳宗悦の平和思想ーカントの永久平和論の影響を中心にー | 李 勝鉉(圓光大) |
| 4. 10:15-10:35 諸宗教対話と宗教的二重所属について | 渡辺 学(南山大) |
| 5. 10:40-11:00 東西霊性交渉における「共鳴性」の問題 | 峯岸 正典 |
| 6. 11:05-11:25 霊性と科学ーガンディー晩年における「世俗」概念についてー | 間 永次郎(一橋大) |
| 7. 11:30-11:50 現代ゾロアスター教における鳥葬の現状と課題 | 香月 法子(中央大) |

【午後】

- | | |
|---|--------------|
| 1. 13:15-13:35 国別の宗教体験談受容の構造ー質問紙調査結果からー | 渡辺 光一(関東学院大) |
| 2. 13:40-14:00 日本における宗教的体験談の受容ー質問紙調査結果からー | 川端 亮(阪大) |

- | | |
|--|-------------------|
| パネル 過疎地域における宗教ネットワークの可能性ー三重県を事例にー | 代表者：川又 俊則 |
| 14:10-16:10 過疎と宗教ネットワークの存続ー松阪市飯高町森地区の事例ー | 磯岡 哲也(淑徳大) |
| 老人福祉施設で出会う宗教ー大紀町・大台町の事例ー | 川又 俊則(鈴鹿短大) |
| 祭礼を担うことの不合理ー老人たちの島・鳥羽市神島の事例ー | 板井 正斉(皇學館大) |
| 子どもたちとともに形成する宗教間ネットワークー紀和町の事例ー | 冬月 律(モラロジー研究所) |
| | コメンテータ：武笠 俊一(三重大) |
| | 司会：川又 俊則(鈴鹿短大) |

レジュメの作成と提出の注意

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①～③を満たした方に限ります。

- ① 9月8日午後2時までに「表紙と本文の紙原稿」を提出し、
- ② 9月13日までに「表紙と本文の電子データ」をEメールで送信し、
- ③ 書式・本文が、規定にそっている方

表紙と本文は、①紙原稿の提出、②メールによる電子データの送信、の両方が必要です。

パネル発表は、代表者が発表者全員分をとりまとめて、提出、送信して下さい。

① 紙原稿の提出方法 締切：9月8日 午後2時

23頁の「レジュメの表紙」・本文の順にホチキスでとめ、部会責任者にお渡し下さい。

以後の提出、変更は認められません。完全原稿を提出して下さい。

② 電子データの提出方法 締切：9月13日(受付開始：8月20日)

Eメールで送信して下さい。送信先：日本宗教学会事務局 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

メールの件名：「レジュメ 発表者の御名前」 例：レジュメ 鈴木花子

Windowsのワード・一太郎は添付ファイルで、それ以外はメールに貼り付けて下さい。

③ 書式・本文 以下をお守り下さい。

【書式】 縦書き 1行40字×40行 用紙：A4横

文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝

- ・ 1頁目 発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者名のローマ字表記 を入力
- ・ 2頁目 本文 を入力

【本文】 40字×40行以内 総文字数ではありません。

邦文中の数字は、漢数字を用いる。

常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

注記、参考文献は、本文中に括弧で挿入する。

図表等の掲載はできません。

日本語を母語としない方は、必ず、日本語上の精査を受けた上で提出して下さい。

・ 欧文タイトル

英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

英語以外の言語は、発表者が提出したタイトル通りに掲載します。

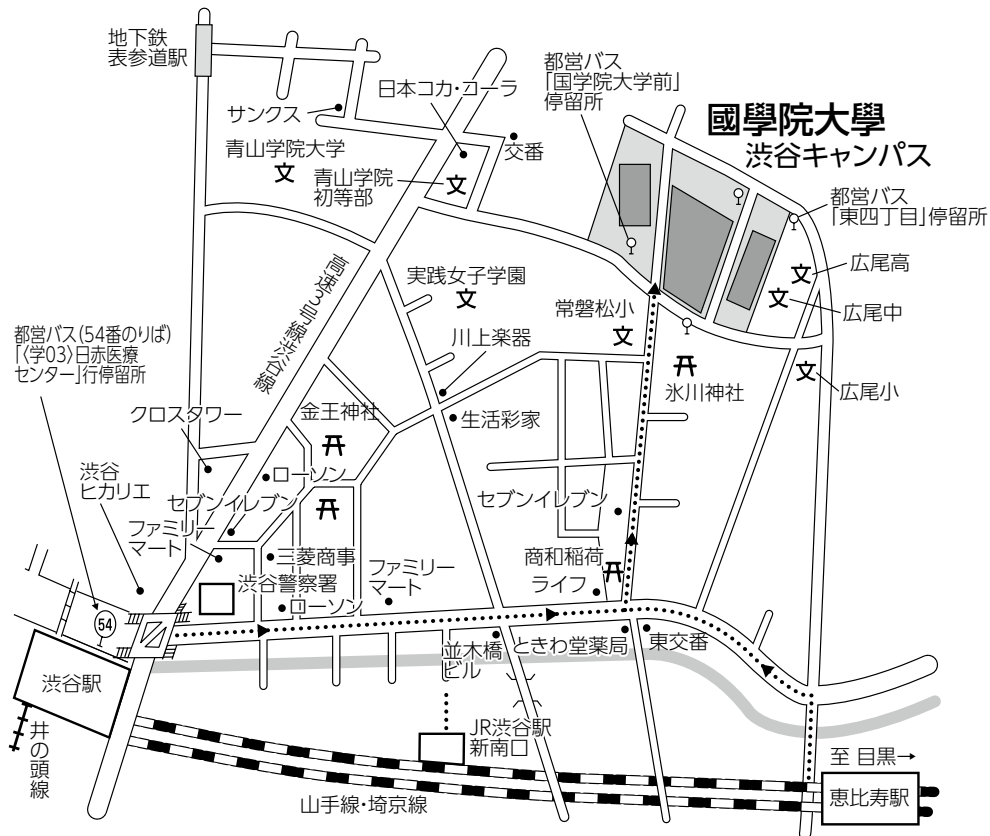
レジユメの表紙(すべての項目に記入して下さい。)

発表題目	題目の漢字並読みを併記し、その下にローマ字で記述して下さい。縦書き
発表者名	縦書き
欧文タイトル	邦文題目に副題がない場合、サブタイトルを付けることは不可 手書きする場合、イタリックは下線で指示して下さい。
発表者名のローマ字表記	例：鈴木花子 → SUZUKI Hanako
電子データの提出について	以下に○をつけて下さい。 1 送信済み 2 9月13日までに送信

※ レジユメの表紙は、大会ホームページから、ワード版がダウンロードできます。

※ 特殊文字は、プリントアウトしたものに、赤字を入れて下さい。

國學院大學渋谷キャンパス・アクセスマップ



渋谷駅からのアクセス

- 渋谷駅 (JR 山手線・地下鉄・東急各線) から徒歩約15分
- 渋谷駅 (京王井の頭線) から徒歩約20分
- 渋谷駅 (JR 埼京線・湘南新宿ライン) から徒歩約10分
- 都営バス (渋谷駅東口ターミナル54番のりば 学03 日赤医療センター行) 「国学院大学前」下車 (運賃170円) 【渋谷駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

表参道駅からのアクセス

- 表参道駅 (地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線) B1 出口から徒歩約15分

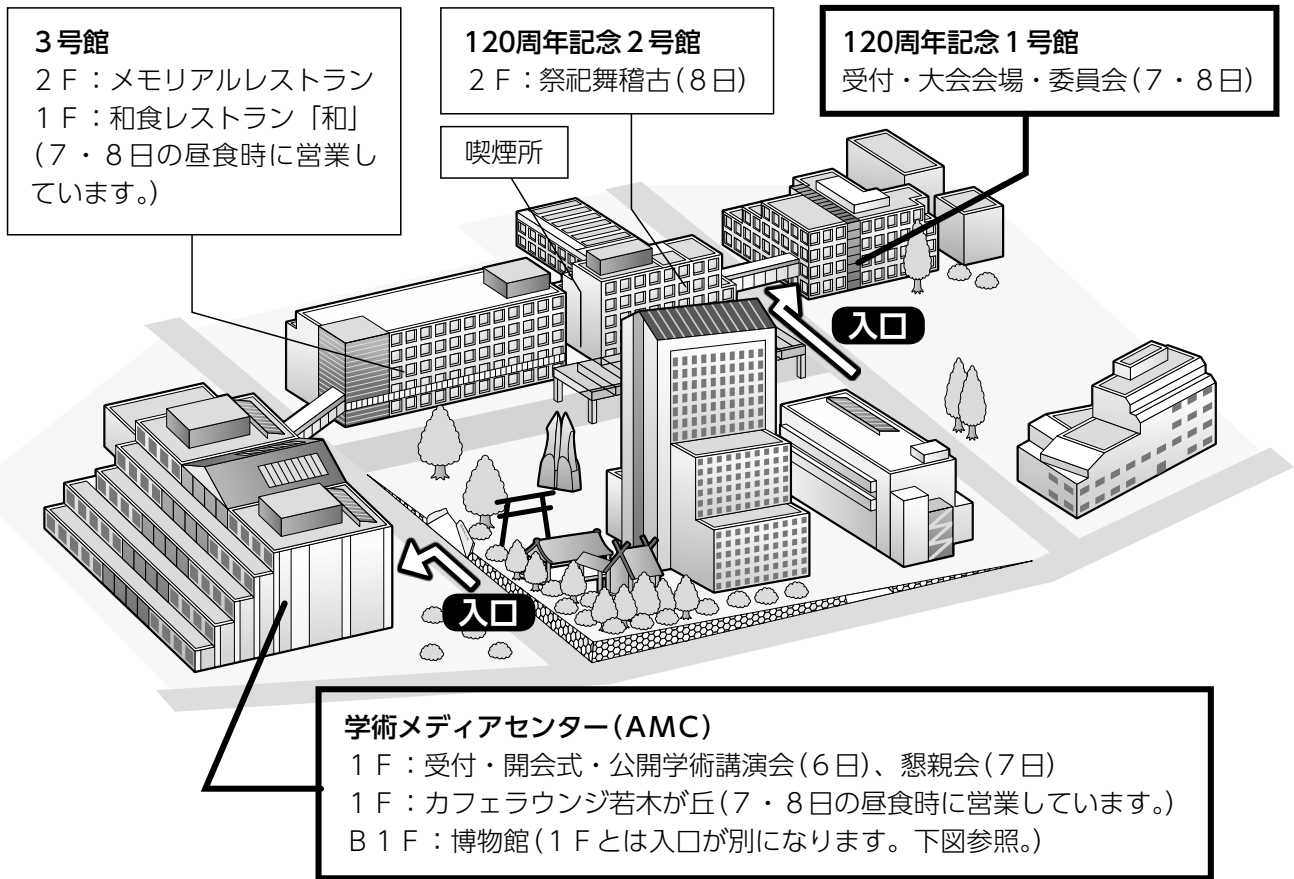
恵比寿駅からのアクセス

- 恵比寿駅 (JR 山手線・地下鉄日比谷線) から徒歩約15分
- 都営バス (恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06 日赤医療センター行) 「東四丁目」下車 (運賃170円) 【恵比寿駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

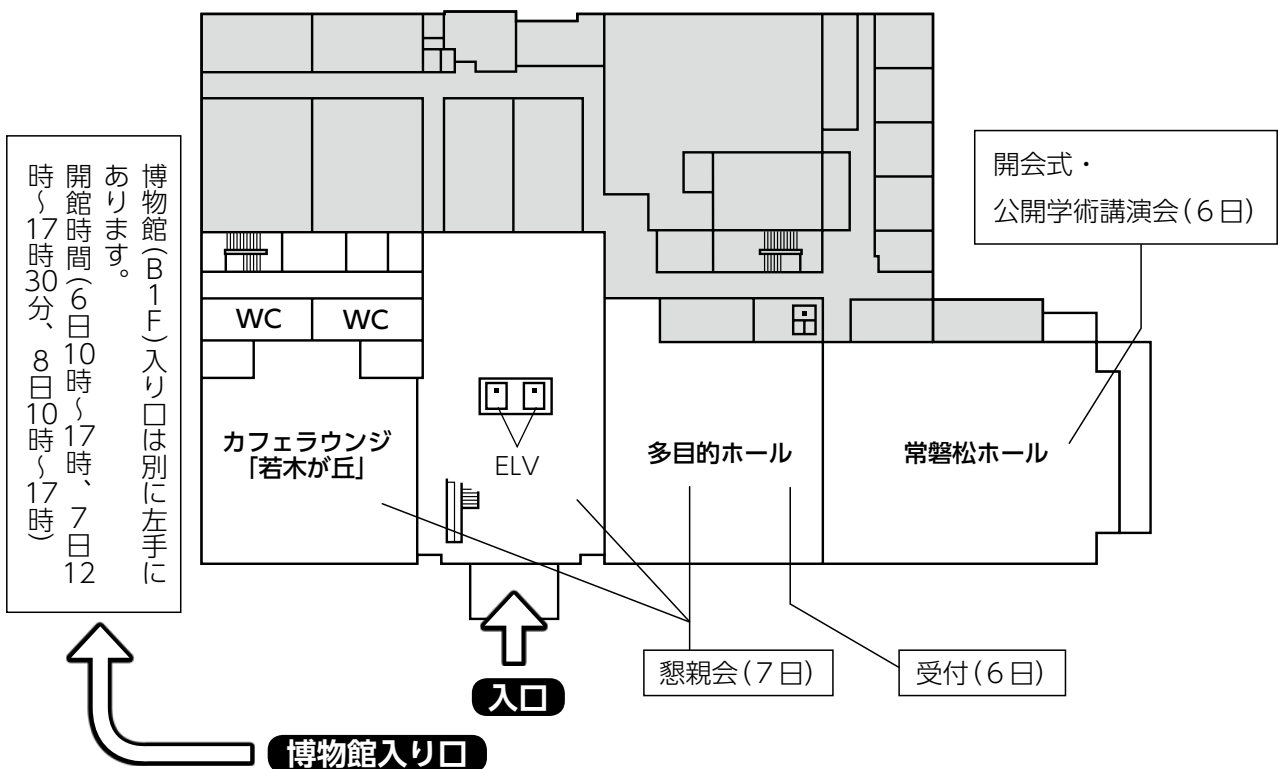
國學院大學ホームページ アクセスマップからもご覧いただけます。

http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/access_shibuya.html

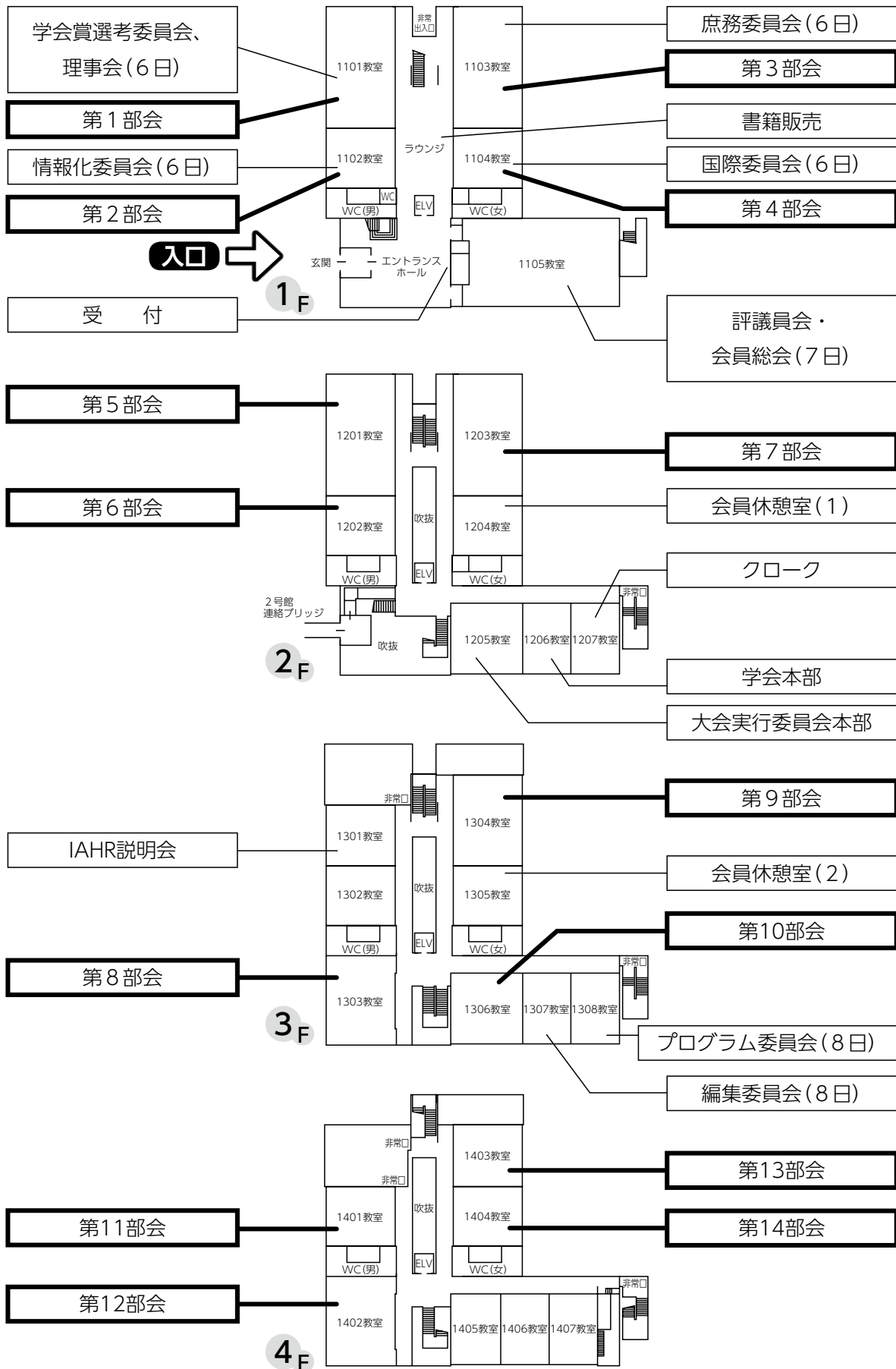
大学構内案内図



会場案内：学術メディアセンター1F



会場案内：120周年記念1号館



日本宗教学会
第72回 学術大会実行委員会事務局

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學 AMC 5階
FAX : 03(5466)0355
E-mail : jars2013team@gmail.com
HP : <http://jars2013.wordpress.com/>
